令和６年度における各部等の重点目標
（達成状況）

目　　次

■　総　務　部　・・・・・・・・・1
■　企画財政部　・・・・・・・・・3
■　民　生　部　・・・・・・・・・5
■　健康福祉部　・・・・・・・・・8
■　農林商工部　・・・・・・・・・10
■　建　設　部　・・・・・・・・・12
■　上下水道部　・・・・・・・・・14
■　中央病院事務局　・・・・・・・16
■　教育委員会事務局　・・・・・・17
■　農業委員会事務局　・・・・・・20

令和6年度における各部等の重点目標（達成状況）

部名等　総務部

No.	重　点　目　標	目　標　値	達　成　状　況
1	各種計画目標を踏まえた行政改革を推進します。	新しい行政改革の指針となる計画（令和7年度以降）の策定　令和7年3月末まで	新しい行政改革の指針となる計画（令和7年度以降）を策定　令和7年3月末

具体的な取組

取組の結果

目標の達成に向けた取組項目		取組項目の概要	取組状況等
(1)	行政改革の指針となる計画の策定	デジタル化の進展など、時代の変化を踏まえた行政改革の指針となる計画を策定します。	【行政改革の指針となる計画（令和7年度以降）の策定】令和7年3月末策定 十和田市行政改革大綱及び実施計画のあり方 5月 ・次期行政改革大綱は、個別策定ではなく、令和8年度に策定予定の次期総合計画と一体化する方向で、政策財政課と協議を実施 ・第4次行政改革大綱（令和6年度末まで）の期間を2年間延長し、行政改革推進懇談会や行政改革推進本部を経た上で、3月までに最終決定 5～7月 ・第4次実施計画の令和5年度の実績及び令和6年度予定のとりまとめを実施 1・2月 ・市長、副市長に行革大綱の次期総合計画との一体化を見据えた2年間の延長を行う方針を確認 1月22日 ・第1回行政改革推進懇談会にて実施計画の令和5年度実績報告及び次期大綱の方針案について説明 ・実施計画の令和6年度12月時点の実績のとりまとめ及び次年度の事項の修正・追加等の見直しを実施 3月26日 ・行政改革推進懇談会にて実施計画の見直し案を説明 3月28日 ・行政改革推進本部で実施計画の見直し及び行革大綱を次期総合計画と一体化し、現大綱の2年間延長を行う方針を決定
(2)			
(3)			
(4)			
(5)			

令和6年度における各部等の重点目標（達成状況）

部名等　総務部

No.	重　点　目　標	目　標　値
2	防災、減災に取り組みます。	防災マップ（外国語版）のホームページ公開 令和7年3月末まで

達　成　状　況
防災マップの外国語版を作成し、ホームページに公開　令和7年2月28日完了

具体的な取組

取組の結果

目標の達成に向けた取組項目		取組項目の概要	取組状況等
(1)	防災マップの翻訳	防災マップを4言語（英語・韓国語・中国語（簡体字、繁体字））に翻訳し、ホームページで公開します。	【防災マップ（外国語版）のホームページ公開】令和7年2月28日完了 9月25日　翻訳業務委託契約を締結 10～1月　翻訳及び校正作業 2月28日　市ホームページに防災マップを掲載
(2)			
(3)			
(4)			
(5)			

令和6年度における各部等の重点目標（達成状況）

部名等　企画財政部

No.	重　点　目　標	目　標　値
1	人口減少対策に取り組みます。	社会増減数　10人/年　（令和5年　▲22人）

達　成　状　況
社会増減数　▲208人/年

具体的な取組

取組の結果

目標の達成に向けた取組項目		取組項目の概要	取組状況等
(1)	移住・定住支援事業	移住・定住に係る積極的な情報発信や相談対応に取り組むとともに、住宅取得等の補助事業等や若年世代を対象とした奨学金返還支援事業を実施します。	【移住定住事業の利用世帯数】113世帯229人 1　移住・定住支援制度 ・住宅取得支援事業　　83世帯178人 ・引越し支援事業　　28世帯 43人 ・移住支援金　　5世帯　8人 ・医療福祉職移住支援金　2世帯　8人 ※制度重複利用世帯有り 2　移住お試し住宅（通年開設） ・利用件数　　20世帯 41人 3　情報発信・移住相談 5月　市広報、市ホームページ掲載 7月　・東北移住＆つながり大相談会（東京） ・ふるさと回帰フェア（大阪） ・第1回移住者交流会（自然農楽郷） 9月　・ふるさと回帰フェア（東京） ・定住自立圏移住相談会（東京） ・WEB、SNS広告（1回目） 10月　・第2回移住者交流会（とわふる） ・県移住セミナー（東京） 1月　・WEB、SNS広告（2回目） 【奨学金返還支援事業補助件数】 143件
(2)	結婚・婚活支援事業	出会い・結婚への支援として婚活イベント等の開催や新婚世帯への補助事業を実施します。	【出会い・結婚支援事業の利用件数】59世帯 結婚新生活支援事業　　26世帯 ウェディングメモリアル事業　33世帯 5月　・市広報、市ホームページ掲載 ・市内事業者、県民局、八戸市内結婚式場等へチラシ配布 11月　定住自立圏婚活イベント （サン・ロイヤルとわだ） 1月　WEB、SNS広告

令和6年度における各部等の重点目標（達成状況）

部名等　企画財政部

No.	重　点　目　標	目　標　値	達　成　状　況
2	市民の利便性や、職員の業務効率の向上につながるデジタル化に取り組みます。	(1)キャッシュレス決済の利用割合　20.0% (2)生成AI搭載チャットツール導入における職員アンケート調査（5段階評価）による満足度　3.5以上	(1)キャッシュレス決済の利用割合　9.5% (2)生成AI搭載チャットツール導入における職員アンケート調査(5段階評価)による満足度　4.3

具体的な取組

取組の結果

目標の達成に向けた取組項目		取組項目の概要	取組状況等
(1)	書かない窓口機能の導入	窓口での申請手続きの簡略化のため、窓口各課に申請書記入サポートシステムを導入します。	【システムを利用した申請件数】 2,652件 【令和6年10月から利用開始】 達成 ８月29日　業務委託契約締結 10月16日　運用開始（市民課・税務課） 11月29日　７部署71様式で運用
(2)	キャッシュレスの推進	多様な支払方法に対応するため、市民課及び税務課に、キャッシュレス決済機能を備えたセルフタイプのレジを導入します。	【キャッシュレス決済の利用割合】 9.8% 【令和6年10月から利用開始】 達成 ６月５日　　業者選定（プロポーザル方式） ９月３日　　業務委託契約締結 10月16日　運用開始
(3)	職員の業務効率向上	業務上のアイデアやアドバイスとして活用できる生成AIや、職員同士の情報共有のためのチャットツールを導入します。	【職員アンケート調査（5段階評価）による満足度】 4.3 【令和6年10月から利用開始】 達成 ６月26日　　トライアルサービス利用申込 ９月３日　　トライアル運用開始 ９月17日　サービス利用契約締結 10月１日　本格利用開始 10月25日　職員向け研修会実施
(4)	LINE公式アカウントの活用	情報発信力の強化、行政サービスの向上等を図るため、「持ち運べる市役所」として、引き続きLINEを活用した取組を進めるとともに機能の改善、登録者の増加に努めます。	【登録者数】 6,347人 ４月　　小中学校等へのチラシ配布 ４・５月　春まつり期間の展望ロビー前でのPR ８月　　相撲大会等でのPR 11・３月 市広報にPR記事を掲載
(5)	デジタル化の導入の支援	事業者等を対象に、デジタル化の推進に向けた環境整備に係る費用の一部を補助します。	【補助件数】30件 ・Wi-Fi環境の整備　　４件 ・リモート会議システム等導入　13件 ・業務改善ソフトウェア導入　　９件 ・キャッシュレス決済等の導入　４件 ４月　　市広報に記事掲載 ７月　　商工会議所会誌に記事掲載 10月　　市広報・商工会議所会誌に記事掲載 11月28・29日 市内事業所85か所へ戸別訪問によるチラシ配布

令和6年度における各部等の重点目標（達成状況）

部名等　民生部

No.	重　点　目　標	目　標　値
1	健康寿命の延伸と国民健康保険事業の安定的運営を図ります。	(1)がん検診受診者数　目標達成率100% (2)後期高齢者歯科検診受診率　10.0% (3)国民健康保険税の税率改正 令和7年3月末まで

達　成　状　況
(1)がん検診受診者数　目標達成率　103.9% (2)後期高齢者歯科検診受診率　10.9% (3)国民健康保険税の税率改正 令和6年12月改正

具体的な取組

取組の結果

目標の達成に向けた取組項目		取組項目の概要	取組状況等
(1)	国民健康保険被保険者へのがん検診無償化事業の実施	国民健康保険被保険者のがん検診受診者の増加とがんの早期発見、早期治療により、国民健康保険の医療費の抑制を図るため、がん検診の自己負担分を無償化します。	【がん検診受診者数】 合計7,794人 ・胃がん検診　1,652人 ・肺がん検診　2,301人 ・大腸がん検診　2,608人 ・子宮頸がん検診　539人 ・乳がん検診　694人 周知方法 4月23日　市ホームページに掲載 5月　市広報掲載 5月31日　駒らんメール・市公式LINEに掲載 7月　保険証更新封筒にチラシを同封し発送 随時　新規国保加入者に対し、がん検診無償化を説明、チラシ配付
(2)	後期高齢者歯科健診事業の実施	高齢者の口腔の健康維持及び将来における医療費の抑制を図るため、令和6年度に76歳となる後期高齢者を対象に、歯科健診事業を実施します。	【後期高齢者歯科健診事業の受診率】受診率10.9%（111人/1,018人） 周知方法 5～2月　高齢者対象の「集いの場健康教育」会場で周知 6月　市広報掲載 7月　対象者へ受診票を送付
(3)			
(4)			
(5)			

令和6年度における各部等の重点目標（達成状況）

部名等　民生部

No.	重　点　目　標	目　標　値
2	地域の人々と連携し、安全・安心で快適な暮らしを支えるまちづくりに取り組みます。	(1)犯罪被害者等支援計画の策定 (2)地方公共団体実行計画（区域施策編）の策定 (3)「おさとぅり一〈お札・T（h）ree〉」の実施 (4)セーフコミュニティ4回目の認証取得 (5)コミュニティの組織化に向けた座談会の開催　2地区

達　成　状　況
(1)犯罪被害者等支援計画策定 (2)地方公共団体実行計画（区域施策編）策定 (3)「おさとぅり一〈お札・T（h）ree〉」実施 (4)セーフコミュニティ4回目の認証取得 (5)コミュニティの組織化に向けた座談会の開催１地区、その他会合への出席２地区

具体的な取組

取組の結果

目標の達成に向けた取組項目		取組項目の概要	取組状況等
(1)	犯罪被害者等の支援	十和田市犯罪被害者等支援条例で掲げる、各種施策の具体的な取組内容を検討し、十和田市犯罪被害者等支援計画を策定します。	【犯罪被害者等支援計画の策定】令和7年3月末策定 6月　十和田地区犯罪被害者支援ネットワーク会議 7月　犯罪被害者等支援に関する検討会 11月18～20日　犯罪被害者支援パネル展（トワーレ） 12～1月　計画（案）の作成 2月　十和田地区犯罪被害者支援ネットワーク会議 3月　犯罪被害者等支援計画策定
(2)	脱炭素化に向け地方公共団体実行計画（区域施策編）の策定	地球温暖化対策を推進するため、脱炭素化に向けた市の取り組みを検討し、地方公共団体実行計画（区域施策編）を策定します。	【地方公共団体実行計画（区域施策編）の策定】令和7年3月末策定 7月1日　委託契約締結 8月　・地球温暖化防止に関するアンケート調査の実施（市民及び市内事業者を対象） ・地球温暖化対策推進本部設置要綱制定 ・地球温暖化対策実行計画協議会設置要綱制定 10～12月　地球温暖化対策実行計画協議会を3回開催 1月17日　委託契約完了引渡し（納期1月17日） 1月17日～2月7日　パブリックコメント実施 2・3月　地球温暖化対策推進本部会議を2回開催 3月　地球温暖化対策実行計画（区域施策編）策定
(3)	新紙幣発行記念事業「おさとぅり一〈お札・T（h）ree〉」の実施	本市にゆかりのある渋沢栄一や北里柴三郎等が肖像となる新紙幣の発行を記念して行われるイベントのうち、市街地に仕掛けられた謎解きをしながら、偉人と市のつながりについて学ぶ、「おさとぅり一〈お札・T（h）ree〉」を実施します。	【イベントへの参加者数】 605人 【イベントで完成した新紙幣アートの展示】 令和6年11月実施 6月　イベント管理運営業務委託の契約締結 7月　イベント開始（7月27日～9月30日） 9月28日　NHK「あおもりもりもり」に 出演 10月　イベント期間の延長（9月30日→10月31日）に伴う契約変更 11月　委託契約完了引き渡し（11月28日） 11月11～26日　完成後の新紙幣アートを市役所渡り廊下に展示

令和6年度における各部等の重点目標（達成状況）

部名等　民生部

No.	重　点　目　標	目　標　値
2	地域の人々と連携し、安全・安心で快適な暮らしを支えるまちづくりに取り組みます。	(1)犯罪被害者等支援計画の策定 (2)地方公共団体実行計画（区域施策編）の策定 (3)「おさとぅり一〈お札・T（h）ree〉」の実施 (4)セーフコミュニティ4回目の認証取得 (5)コミュニティの組織化に向けた座談会の開催 2地区

達　成　状　況
(1)犯罪被害者等支援計画策定 (2)地方公共団体実行計画（区域施策編）策定 (3)「おさとぅり一〈お札・T（h）ree〉」実施 (4)セーフコミュニティ4回目の認証取得 (5)コミュニティの組織化に向けた座談会の 開催1地区、その他会合への出席2地区

具体的な取組

取組の結果

目標の達成に向けた取組項目		取組項目の概要	取組状況等
(4)	セーフコミュニティ4回目の認証取得	4回目の国際認証取得を目指し、セーフコミュニティの認証審査員による現地審査を受け、再認証を取得する。	【現地審査】 令和6年8月実施 【認証式典・祝賀会】 令和6年11月実施 7月25・26日　現地審査のリハーサル実施 8月 5・6日　現地審査の実施 11月22日　・4回目の国際認証の取得 ・認証式典・祝賀会の開催
(5)	新たなコミュニティづくり支援	コミュニティ組織の立ち上げ支援及び立ち上げ後の組織を支援し、新たな広域コミュニティづくりを進めます。	【組織化に向けた座談会等の開催】 3地区 【広域コミュニティの活動支援】　5地区 1　座談会（旧洞内小学校区） 9月　座談会等開催に向けた打合せ 11～2月　座談会開催（計3回） 2　その他　（広域コミュニティ制度に関する説明及び情報交換） 7月　・ちとせ学区青少年健全育成協議会役員会へ参加 ・北小学区町内会連絡協議会の勉強会へ参加 3月　ちとせ学区青少年健全育成協議会総会へ参加 3　広域コミュニティの活動支援 4月　事務局支援事業補助金及び活動支援事業補助金交付要綱制定 5月　交付決定（10件） 3月　事業内容の審査、交付額確定

令和6年度における各部等の重点目標（達成状況）

部名等　健康福祉部

No.	重　点　目　標	目　標　値
1	安心して子育てができるよう、子育てに対する経済的・心理的な負担の軽減を図ります。	4か月児健診時に出産・育児について「満足している」と回答した人の割合　95.0%

達　成　状　況
4か月児健診時に出産・育児について「満足している」と回答した人の割合　　92.5%

具体的な取組

取組の結果

目標の達成に向けた取組項目		取組項目の概要	取組状況等
(1)	とわだ子育て応援ギフト事業	乳児を養育している家庭へ宅配により紙おむつを支給します。	【紙おむつ支給割合】100% 申請者数211人（出生者数211人　申請率100%） 生後1か月　100% 生後2か月　100% 生後3か月　100% 5月　　委託契約締結、対象者へ周知、申請開始、月に3回各対象者へ宅配による紙おむつ支給 11～1月　4か月児健康診査時に紙おむつ支給に関する満足度の調査を実施
(2)	妊産婦の安心子育てサポート事業	妊産婦やパートナー、家族等を対象に産前・産後の生活や子育てに関する情報交換や交流等を実施します。	【教室で得た知識や情報を活かすことができた割合】100% パパママ教室開催（20回） ・妊娠期コース　16回、91組（185人） ・育児期コース　4回、17組　（31人）
(3)			
(4)			
(5)			

令和6年度における各部等の重点目標（達成状況）

部名等　健康福祉部

No.	重　点　目　標	目　標　値	達　成　状　況
2	心身ともに健やかな生活を送ることができるように、生涯にわたる健康づくりの増進に取り組みます。	健康アプリ登録者数　800人	健康アプリ登録者数　1,576人

具体的な取組

取組の結果

目標の達成に向けた取組項目		取組項目の概要	取組状況等
(1)	がん患者医療用補整具購入費用助成事業の周知	市ホームページや市広報等による情報発信を積極的に行い、必要とする方への周知に努めます。	【周知実積率】 100% 5～3月　県内55医療機関等にチラシ、ポスターを配布 市広報5月号、11月号への掲載 市ホームページに事業の詳細を掲載 7～2月　LINE、駒らんメール及びフェイスブックに事業 掲載(計4回) 随時　計44回 ・健康講座4回 ・集団健診31回 ・コミュニティセンターまつり等9回 ※パワーポイント、ポスター、チラシの媒体による周知を状況に合わせて実施
(2)	健康アプリを活用した働き盛り世代の健康づくり	スマートフォンの健康アプリを用いた健康記録や情報発信により、働き盛り世代の健康意識の向上と生活習慣病等の予防に努めます。	【健康アプリ登録者数】 1,576人 事前準備 6月　指名競争入札により業者決定し、契約 7月　健康アプリの名称を「とわ歩゜」に決定し、周知用ポスター等の作成 8月　とわ歩゜開始お手伝いデー実施に向けて、十和田工業高等学校との協議 9月　関係機関へのポスター配付 10月1日　とわ歩゜運用開始 10～3月　・市ホームページや市公式LINE、広報等での周知 ・月1回の健康記事と月2回のメッセージの発信 ・各種イベント・事業でのインストール案内と個別操作案内 ・とわ歩゜開始お手伝いデー（計3回） ・利用者アンケート
(3)	麻しん風しん予防接種の接種率の維持	第1期(1歳～2歳未満)、第2期(小学校就学前1年間)の定期予防接種を勧奨します。	【第2期接種率】 96.0% 接種対象者（令和6年4月1日時点）　422人 接種済者　405人 4月　第2期対象者への勧奨ハガキの送付 8月　就学児健診案内時にチラシ配布 12月　第2期未接種者への勧奨ハガキの送付 1月　市内小学校1日入学時に勧奨チラシ配布 2月　第2期未接種者への電話勧奨 随時　第1期対象者向けに毎月の1歳半健診時に未接種者への個別勧奨、2歳の誕生日が近い未接種者への電話勧奨を実施

令和6年度における各部等の重点目標（達成状況）

部名等　農林商工部

No.	重　点　目　標	目　標　値	達　成　状　況
1	持続可能な力強い農業を実現するため、新規青年就農者の確保と農地の維持・増進を推進し、農村地域の活性化を図ります。	新規青年就農者数　3人 （総合計画目標値令和8年度　累計60人 令和5年度　累計47人）	新規青年就農者数　3人

具体的な取組

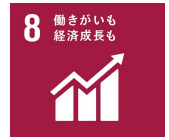
取組の結果

目標の達成に向けた取組項目		取組項目の概要	取組状況等
(1)	地域計画の策定に向けた集落座談会の開催	将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」の策定のため、目標地図等を基に、農業者等と協議をする場として、各地区で集落座談会を開催します。	【集落座談会の開催】 10回 6月　意向調査実施 8月　集落座談会で使用する地域計画素案の完了 10月　意向調査を反映させた目標地図を農業委員会と協議し作成 11月　集落座談会を実施 2月　・担い手支援検討会議 ・集落座談会での意見聴取を基に修正した地域計画案及び目標地図について協議 3月　地域計画公告
(2)	新規青年就農者への支援	市の人・農地プランに位置付けられている50歳未満で新規に独立・自営する青年就農者に対し、新規就農者育成総合対策事業経営開始資金及び新規就農者育成総合対策経営発展支援事業補助金を交付することにより、農業経営の安定化を図ります。	【新規青年就農者数】 3人 8月　新規就農者育成総合対策経営発展支援事業の申請を承認（1件） 9月　・農業次世代人材投資資金及び新規就農者育成総合対策事業経営開始資金交付対象者に対し、面談及び現地確認を実施（8件） ・新規就農者育成総合対策事業経営開始資金の申請を承認（3件） ・農業次世代人材投資資金及び新規就農者育成総合対策事業経営開始資金　（上期）を 交付（10件） 10～12月　新規就農者育成総合対策事業経営発展支援事業補助金を交付 1月　交付対象者の経営状況について帳簿等確認 3月　農業次世代人材投資資金及び新規就農者育成総合対策事業経営開始資金　（下期）を交付（9件）
(3)			
(4)			
(5)			

令和6年度における各部等の重点目標（達成状況）

部名等　農林商工部

No.	重　点　目　標	目　標　値	達　成　状　況
2	移住・就業を促すことにより、市の産業を担う人材と雇用の確保を図ります。	(1)地方就職学生支援金受給学生数　10人 (2)UIJターン移住就業奨励金活用による就労者数　10人	(1)地方就職学生支援金受給学生数　　0人 (2)UIJターン移住就業奨励金活用による就労者数　14人



具体的な取組

取組の結果

目標の達成に向けた取組項目		取組項目の概要	取組状況等
(1)	地方就職学生の支援	若者の十和田市への移住を促すため、東京圏のキャンパスに在学する学生が、市内で就職活動をするための交通費を支援します。	【地方就職学生支援金を受給した学生数】 0人 7月　要綱制定 8月　・チラシ配布（対象地域に立地する大学133件、市内事業所174件） ・市ホームページ掲載 10月　市広報、SNS掲載 12月　SNS掲載
(2)	UIJターンによる移住・就業の奨励	市外から転入し、市内の事業所で3か月以上就労した者に対し、UIJターン移住就業奨励金を交付します。	【UIJターン移住就職奨励金事業の利用件数】14人 4月　・要綱制定 ・市広報、市ホームページ掲載 ・市内関係機関へチラシ配布 12月　・SNS掲載
(3)			
(4)			
(5)			

令和6年度における各部等の重点目標（達成状況）

部名等　建設部

No.	重　点　目　標	目　標　値	達　成　状　況
1	道路の防災・安全対策を推進します。	(1)改良率　前年度比　0.5%増、 舗装率　前年度比　0.1%増 (2)橋梁点検　59橋	(1)改良率　前年度比　0.19%増、 舗装率　前年度比　0.07%増 (2)橋梁点検実施数　59橋

具体的な取組

取組の結果

目標の達成に向けた取組項目		取組項目の概要	取組状況等
(1)	道路整備の推進	歩行者及び車輌の安全で円滑な交通を確保するため、効果的な道路整備を進め、道路環境の充実を図ります。	【改良率及び舗装率】改良率0.19%、舗装率0.07%増
(2)	橋梁点検の実施	安全・安心で快適な生活を維持するため、道路メンテナンス事業により、橋梁の老朽化対策を目的とした点検を実施します。	【橋梁点検実施数】 59橋 判定については以下のとおり。 Ⅰ（健全）　:11橋 Ⅱ（予防保全）　:44橋 Ⅲ（要補修）　: 4橋 Ⅳ（要緊急対応）: 0橋 計　59橋 市ホームページにて結果を公表。
(3)			
(4)			
(5)			

令和6年度における各部等の重点目標（達成状況）

部名等　建設部

No.	重　点　目　標	目　標　値	達　成　状　況
2	公共交通対策に取り組みます。	公共交通総利用者数　753,000人／年	公共交通総利用者数　677,574人／年

具体的な取組

取組の結果

目標の達成に向けた取組項目		取組項目の概要	取組状況等
(1)	市街地循環バス・西地区シャトルバスの運行	市街地の回遊性・利便性向上及び郊外部と市街地のアクセス向上のため、市街地循環バス及び西地区シャトルバスを運行します。	【利用者数】 56,990人（前年48,392人から17.7%増） 市街地循環バス ・運行日数 355日間 ・利用者数 50,276人（1日あたり 141.6人／日） 西地区シャトルバス ・運行日数 355日間 ・利用者数 6,714人（1日あたり18.9人／日）
(2)			
(3)			
(4)			
(5)			

令和6年度における各部等の重点目標（達成状況）

部名等　上下水道部

No.	重　点　目　標	目　標　値
1	快適な暮らしを支えるため、効率的で持続可能な整備を行い、経営の効率化を図ります。	(1)有収率　89.0% (2)管路耐震適合率　41.0%

達　成　状　況
(1)有収率　87.4% (2)管路耐震適合率　41.1%

具体的な取組

取組の結果

目標の達成に向けた取組項目		取組項目の概要	取組状況等
(1)	漏水調査の実施	有収率の向上を図るため、漏水調査を実施します。	【有収率】87.4% 漏水調査業務の実施 ８月26日　委託契約を締結 10月26日　調査業務開始 12月14日　調査業務完了
(2)	管路更新の実施	安全・安心な水道水の安定供給のため、老朽化した管路を耐震管に更新し、管路耐震適合率の向上を図ります。	【管路耐震適合率】41.1% 配水管布設替工事の実施 ・配水管布設替工事契約 ４月４件、６月３件、７月１件、８月１件　計９件　（延長2,470m） ・完成件数　計９件　（延長2,502m） 送水管更新工事の実施 ・送水管更新工事契約 ６月２件　　計２件　（延長498m） ・完成件数　計２件　（延長509m）
(3)			
(4)			
(5)			

令和6年度における各部等の重点目標（達成状況）

部名等　上下水道部

No.	重　点　目　標	目　標　値	達　成　状　況
2	快適な住環境の整備と湖や河川など公共用水域の水質保全に向け、下水道施設の整備を進めます。	水洗化率　前年度比　1ポイント増 （令和5年度　87.3%）	水洗化率　前年度末比　0.9ポイント増

具体的な取組

取組の結果

目標の達成に向けた取組項目		取組項目の概要	取組状況等
(1)	浸水対策事業の実施	浸水対策整備事業を行うため、令和7年度までに最大クラスの内水に対応した浸水想定区域図及びハザードマップを作成し、雨水管理総合計画を策定します。	1　委託業務契約締結 5月1日　浸水想定区域図作成業務委託(その2) 2　受託業者との協議等 5月13日　第1回協議(業務計画) 6月5日　第2回協議(工程等) 8月7日　第3回協議(モデル化の方針等) 9月18日　第4回協議(河川の追加測量調査) 9月24日　河川測量調査の実施(今熊川) 12月24日　第5回協議(シミュレーション実施) 1月30日　第6回協議(対策施設の検討等) 3月6日　第7回協議(浸水想定区域図案の提出) 3月14日　浸水想定区域図の最終調整(庁内) 3月25日　浸水想定区域図の納品 3　委託完成 3月28日　完成検査、引渡し
(2)	下水道ストックマネジメントの推進	下水道施設の持続的な下水道機能の確保とコストの低減を図るため、令和4年度から8年度までを計画期間とする十和田市下水道ストックマネジメント計画に基づく事業を推進します。	4 ～ 9月　機械(破砕機)の工場製作 10月18日　破砕機の製作完了確認 12月20日　機械設置箇所の防食塗装追加の変更契約締結 3月18日　完成検査、引渡し
(3)	十和田市浄化槽整備事業の推進	下水道集合処理区域以外におけるPFI事業による小型浄化槽整備事業を推進します。	【小型浄化槽設置基数】 18基 1　PFI事業者による事業周知活動 4～9月　・地元紙折込チラシ約4,100枚配布 ・単独浄化槽、し尿汲取り清掃会社へのチラシ 配布依頼(450部) ・戸別訪問の実施(法量北向・赤石地区等 30 戸) 10～3月 ・地元紙折込チラシ約4,100枚配布 10～3月 ・戸別訪問の実施(高清水・米田・滝沢・沢田・ 法量地区等 155戸) 2　市の取組(市広報活用による事業周知) ・5月号　普及促進補助及び単独浄化槽撤去補助制度の紹介 ・8月号　浄化槽整備事業及び浄化槽普及促進補助制度の紹介
(4)	水洗化率の向上	公共下水道十和田処理区において、供用開始から3年を経過した未接続世帯の水洗化を促進します。	【水洗化率】 0.9ポイント増 令和5年度末　・87.3%(実績) 令和7年3月31日現在　88.2% 新たに接続した世帯数　・74世帯 8月23日　公共下水道への接続依頼と水洗化等資金融資あっせん及び利子補給制度をを市ホームページに掲載 下水道未接続世帯へダイレクトメール送付(稲生町、穂並町、東番町、西番町、元町東、元町西、ひがしの、一本木沢合計754件) 下水道への接続に関するアンケート調査(同 上地区　合計645件)

令和6年度における各部等の重点目標（達成状況）

部名等 中央病院事務局

No.	重　点　目　標	目　標　値	達　成　状　況
1	持続可能な地域医療の確保を図るため、病院収支の黒字化を図るとともに、急性期医療への特化、地域医療連携の拡充及び働き方改革の推進を行います。	⑴入院人数240人／日以上 ⑵HCU（高度治療室）の再開 救急患者の応需率　100% 医師確保　1名以上 ⑶地域医療連携推進法人への参画促進　1機関以上 薬品の共同購入の実施　1回以上	⑴入院人数　204.1人／日 ⑵HCU（高度治療室）の再開　未再開 救急患者の応需率　96.5% 医師確保　2名 ⑶地域医療連携推進法人への参画促進　1機関 薬品　2品目　物品　1品目　随時購入開始

具体的な取組

取組の結果

目標の達成に向けた取組項目		取組項目の概要	取組状況等
(1)	病院収支の黒字化	黒字化に向けた収入の増加及び経費の削減を図ります。	【入院人数（一般）】 204.1人／日
(2)	地域医療連携の進化	地域医療連携推進法人の参加病院間で、相互支援等による病院事業連携の推進を図ります。	【地域医療連携法人への参画推進】 1機関 5月　　公立野辺地病院参画 【医薬品、診療材料の共同購入】3品目、随時購入開始 6～2月　共同購入に関する会議を5病院で実施（計8回） 11月28日　「共通購入品目設定による随時購入」に関する業者説明会を実施 3月　　・薬品2品目購入開始 ・プラスチック手袋購入開始 ・手術用ガウンサンプリング実施
(3)			
(4)			
(5)			

令和6年度における各部等の重点目標（達成状況）

部名等 教育委員会事務局

No.	重　点　目　標	目　標　値	達　成　状　況
1	次世代を担う人材の育成や持続可能な社会に向けて、地域・関係機関との連携を緊密にしながら、教育環境の充実を図ります。	(1)市立小中学校適正配置基本方針の策定 令和6年12月末まで (2)十和田中学校の校舎棟及び武道館の長寿命化改修工事の完了　令和7年3月末まで	(1)市立小中学校適正配置基本方針の策定 令和7年3月18日 (2)十和田中学校の校舎棟及び武道館の長寿命化改修工事の完了　令和7年3月10日完了

具体的な取組

取組の結果

目標の達成に向けた取組項目		取組項目の概要	取組状況等
(1)	十和田中学校の校舎棟及び武道館の長寿命化を図る	安全安心な新しい教育環境を整えるため、校舎北棟や武道館の改修工事を行います。	【十和田中学校の北側校舎棟及び武道館長寿命化改修工事の完了】 令和7年3月10日完了 1　長寿命化改良工事 6月21日　建築工事契約締結 7月3日　電気設備工事契約締結 7月3日　機械設備工事契約締結 2月14日　建築工事変更契約締結 3月6日　電気設備工事変更契約締結 3月6日　機械設備工事変更契約締結 3月10日　工事完了日（工期3月10日） 2　同工事監理 7月1日　同上工事監理業務委託契約締結 7月5日　現場引渡し及び打合せ 3月21日　委託契約完了（納期3月21日）
(2)	ちとせ小学校建設事業の基本構想策定	学校建設に向けた様々な課題について、地域の意見を参考としながら、地域コミュニティの拠点機能も視野に入れた校舎の整備を進めます。	【耐力度調査の実施】令和7年3月28日完了 1　耐力度調査業務委託 5月17日　耐力度調査業務委託契約締結 6月3日　初回打合せ 12月13日　履行期限変更契約締結 2月25日　県へ耐力度調査報告書提出 3月28日　委託契約完了（納期3月28日） 【基本構想策定】令和7年3月31日完了 2　基本構想（計画）策定 12月13日　基本計画策定業務委託契約締結 2月25日　委託事業者草案提出 3月10日　改築懇談会開催（14名出席） 3月31日　委託契約完了（納期3月31日）
(3)	「とわだ未来プロジェクト」キャリア教育推進事業	各校のキャリア教育に係る経費を負担することにより、児童生徒の、郷土愛を育み、将来的に何らかの形で十和田市に貢献する人づくりを目指し、十和田市学校教育指導の方針の具現化を図ります。	【「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の回答項目のうち、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童・生徒の割合】 小学校89.9%　中学校84.1% 4～3月　「とわだ未来プロジェクト」キャリア教育事業費をもとに、各校で、体験学習を実施するなど、キャリア教育の充実に努めた。 5～7月　計画訪問において、児童生徒のキャリア形成を意識した取組を行うよう呼び掛けた。 10月　各校へ報告書提出及び本事業推進について依頼した。 1月　市広報で特色ある取組を行っている学校を紹介し、周知した。

令和6年度における各部等の重点目標（達成状況）

部名等 教育委員会事務局

No.	重　点　目　標	目　標　値	達　成　状　況
1	次世代を担う人材の育成や持続可能な社会に向けて、地域・関係機関との連携を緊密にしながら、教育環境の充実を図ります。	(1)市立小中学校適正配置基本方針の策定 令和6年12月末まで (2)十和田中学校の校舎棟及び武道館の長寿命化改修工事の完了　令和7年3月末まで	(1)市立小中学校適正配置基本方針の策定 令和7年3月18日 (2)十和田中学校の校舎棟及び武道館の長寿命化改修工事の完了　令和7年3月10日完了

具体的な取組

取組の結果

目標の達成に向けた取組項目		取組項目の概要	取組状況等
(4)	情報教育推進事業	デジタル教科書やAIドリルの活用等により、「分かる授業」と「個別最適な学び」の実現に向け、ICT環境を最大限活用します。	【1人1台端末を1日1回以上活用して学習活動を実施した学校の割合】　91.0% 【授業中にICTを活用して指導することが「できる、ややできる」と回答した教員の割合】　77.0% 1　ICT活用に係る研修の実施 7月31日　ICT活用実践研修会を実施（延べ69人参加） 2　ICT支援員派遣の継続 ICT支援員3名の計画的な訪問（各校週1回程度、月3～4回程度の訪問） 3　市立小学校で指導者用デジタル教科書、市立中学校でAIドリルの導入と活用促進 4　ICT通信を活用した情報提供

令和6年度における各部等の重点目標（達成状況）

部名等 教育委員会事務局

No.	重　点　目　標	目　標　値	達　成　状　況
2	誰もが楽しく学び、地域での多様な文化・芸術・スポーツの推進を通じて、活力のある人材の育成を図ります。	⑴十和田湖畔宇樽部、休屋及び子ノ口地区のゾーニングに係る素案の作成　令和7年3月末まで ⑵スポーツ教室の開催回数　5回 ⑶市民カレッジにおける ①アンケート調査において、学習の成果を「生かせる」と回答した受講者の割合　94.8% ②合計参加者数　延べ2,000人	⑴十和田湖畔宇樽部、休屋及び子ノ口地区のゾーニングに係る素案の作成　令和7年2月21日完了 ⑵スポーツ教室の開催回数　6回 ⑶市民カレッジにおける ①アンケート調査において、学習の成果を「生かせる」と回答した受講者の割合　93.7% ②合計参加者数　延べ2,232人

具体的な取組　　取組の結果

目標の達成に向けた取組項目		取組項目の概要	取組状況等
(1)	特別名勝及び天然記念物「十和田湖および奥入瀬渓流」の保存活用計画策定	既存の計画を見直し、新たな保存計画策定のため、必要な調査を実施します。	【十和田湖畔宇樽部、休屋及び子ノ口地区のゾーニングに係る区割り案の作成】 令和7年2月21日完了 1　調査検討委員会 4月24日　　弘前大学と調査業務委託契約締結 5月30・31日　第1回調査検討委員会 10月3日　　第2回調査検討委員会 2月21日　　第3回調査検討委員会 2　保存計画策定のための調査 6～10月　　裸地化の調査 7～12月　　土砂堆積の調査
(2)	国民スポーツ大会準備業務の推進	本市で実施される正式競技（サッカー・バスケットボール・相撲）に係る会場レイアウトの設計業務を実施します。	【正式競技の会場設計】 令和7年3月7日完了 7月10日　設計業務委託契約締結 3月7日　設計業務完了
(3)			
(4)			
(5)			

令和6年度における各部等の重点目標（達成状況）

部名等　農業委員会事務局

No.	重　点　目　標	目　標　値
1	後継者の確保や意欲ある担い手育成のため、農地集積・集約を進めるとともに、経営に関する制度の周知に取り組みます。	(1)農地あっせん成立件数　10件 (2)農業者年金新規加入者数　6人 (3)後継者対策イベント参加者数　50人

達　成　状　況
(1)農地あっせん成立件数　11件 (2)農業者年金新規加入者数　10人 (3)後継者対策イベント参加者数　49人

具体的な取組

取組の結果

目標の達成に向けた取組項目		取組項目の概要	取組状況等
(1)	農地流動化の促進	農業者からあっせんの申し出があった農地について、農業委員及び農地利用最適化推進委員と連携し、農地の受け手を探しマッチングさせます。	【あっせん成立件数】 11件 申請地区に該当する地区担当の農業委員、農地利用最適化推進委員へ、受け手探しを依頼
(2)	農業者年金の加入推進	JA十和田おいらせと連携しながら、制度説明会を開催して制度を幅広く周知するとともに、加入推進員のスキルアップを図り農業者年金の加入者増加に取り組みます。	【農業者年金新規加入者数】 10人 4～9月　・農業委員会へ来庁した若手農業者を対象にチラシ配布 ・農業委員及び最適化推進委員による加入推進の戸別訪問 5月　JAの出荷契約の際に相談ブースを6日間開設（5月27～30日JA本店、6月3・4日JA十和田湖支店） 10月19日　JAのイベントで農業者年金相談会を開催 11月15日　農業者年金協議会の作業部会を開催（加入推進活動を強化） 2月12～14日　農林畜産課主催の説明会に同行しPR活動実施
(3)	農業後継者対策事業	関係団体及び庁内の関係部署と連携し、農業後継者を多方面から支援する交流会等のイベントを年内に2回開催します。	【イベントへの参加者数】男性22人、女性27人、合計49人 8月24・25日　夏のスキンケアセミナー開催 11月24日　あおもりマッチングシステム活用セミナー開催 12月7日　交流イベント開催
(4)			
(5)			